

要請番号（JL05123A19）

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
バングラデシュ	G121 バレーボール		個別	新規	2年	・ 2023/4 ・ 2024/1 ・ 2024/2 ・ 2024/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

青年スポーツ省

2) 配属機関名（日本語）

国立スポーツ学院

3) 任地（ダッカ管区サバル郡） JICA事務所の所在地（北ダッカ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車で約2.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、1986年に設立されたバングラデシュ国内の優秀なスポーツ人材を育成する機関。ダッカ本校のほか、チッタゴンやシレット、クルナ等にも拠点を構え、主に8～20歳の生徒に対し、様々な競技種目における専門的な指導を提供している。また、小・中・高に相当する一般教育も展開されている。ダッカには約550名の生徒が在籍中。全寮制であり、全生徒が敷地内にある寮で生活している。これまで、26名のJICA海外協力隊が派遣されているほか、外国人コーチも積極的に採用しており、2022年11月現在、英国、ジンバブエ、韓国、インド人コーチが在籍中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は国内有数のスポーツ選手育成機関であり、バレーボールに関する指導も行われている。現在、ダッカ本校にはバレーボールを選択する約40名の男子生徒が在籍しており、日々練習に励んでいる。他方、バングラデシュ国内におけるバレーボールは未だ発展途上の段階にあり、コーチ陣の知識・技術レベルも高いとは言えない。また、配属先は他種目において多数の外国人コーチを採用しているものの、これまでバレーボールコースでは外国人コーチを招聘した実績がなく、トレーニングはバングラデシュ人コーチのみによって実施されている。そのため、配属先は外国人コーチの受け入れを通じて、トレーニングを活性化させ、国際基準の選手育成を促進したいと考えており、再度協力隊の派遣要請がなされた。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先同僚と協力し、以下の活動を実施。

- バレーボールコースに所属する生徒に対する技術的な指導およびフィジカルトレーニングに関する助言。
- 生徒や同僚に対する最新の練習方法や戦術の紹介および導入支援。
- スポーツ指導を通じた礼儀やマナーの定着、人間性の向上。
- トレーニングマニュアルの開発および定着促進。
- 対外試合等の企画・立案や実施。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

バレーボールコート1面(屋内)、各種練習用具

4) 配属先同僚及び活動対象者

バレーボールコーチ3名 男性 指導経験 2～30年(全員がコーチングライセンス・資格保有)
バレーボールコース選択生徒 男約40名 14～19歳

5) 活動使用言語

ベンガル語

6) 生活使用言語

ベンガル語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(JSPO公認コーチ1(旧指導員))

[学歴]：() 備考：

[性別]：(男性) 備考：配属先からの要望のため

[経験]：(競技経験) 5年以上 備考：専門的な指導を行うため
(指導経験) 2年以上 備考：同僚への指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(15～40℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】